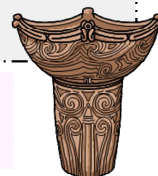




「どの児童も自分から手を伸ばし、土器作りを楽しむことができていたと思います。難しい活動でしたが、どの子も落ち着いて取り組めていました。」

静岡県立清水特別支援学校の6年生14人が、特別活動の一環で、土器作りを通して昔の人々の生活を知ることを中心に、ミニミニ土器作りを体験しました。



ミニミニ土器作り体験

最初に、土器について説明しました。土器の発明によって、煮炊きができるようになり、人々の生活が大きく変わったことを伝えました。縄文土器のデザインにも触れ、デザイン性の素晴らしさを確認しました。次に、粘土をこねて土器を作り始めました。まず底部を作り、その底部に合わせてひも状の粘土を積み重ねます。形が出来たら文様をつけて出来上がりました。



「じょうずにできた。」

「おせんべいとドーナツを作ってつなげた。」

「もようを付けるのが楽しかった。」



先生方の感想

「どの児童も自分から手を伸ばし、土器作りを楽しむことができていたと思います。昨年度のはにわ作りを覚えている児童が多く、イメージをもっていたのではないかと思います。難しい活動でしたが、どの子も落ち着いて取り組めていました。本物の土器や写真が分かりやすかったです。特に味噌汁のようなものを煮ている写真で、用途が分かった子がいたように思います。」

